

## 5 飛鳥の朝廷

### 東アジアの動向とヤマト政権の発展 34~35P

隋の成立と蘇我氏の台頭

- ① **大伴氏の後退**：対朝鮮政策の失敗(伽耶西部を **百濟** に支配権を確立された)を非難された **大伴金村** が失脚。朝鮮半島での高句麗・新羅・百濟等の位置関係を確認。
- ② 物部氏と蘇我氏の対立  
先進文化と仏教受容賛成 → **蘇我稻目**  
伝統重んじ仏教受容反対 → **物部尾輿**  
6世紀末、朝廷内の権力闘争ピークに。  
★592 **蘇我馬子** は **物部守屋** を滅ぼし **崇峻天皇** を暗殺(馬子の命を受けて暗殺したのが **東漢直駒**) キン
- ③ **推古天皇** 最初の女帝。 **飛鳥豊浦宮** で即位。

★摂政：**厩戸王**・大臣 **蘇我馬子** が国政担当

#### 論点

#### 厩戸王

**用明** 天皇が出るとすれば厩戸王の父ぐらいしかいない。

- ①603 **冠位十二階** 才能・功績に応じて個人に冠位を与える  
冠の色で序列 徳・仁・**礼**・信・義・智を大小に分ける  
♫紫・青・赤・黄・白・黒

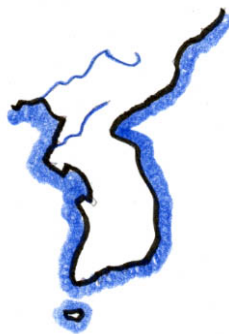
- ②604 **憲法十七条** 制定 → 豪族への心得

#### 史料研究 憲法十七条 (日本書紀)

- 一に曰く、和を以て貴しと為し、忤(さから)ふること無きを、宗となせ。…
  - 二に曰く、篤く三宝を敬へ。…
  - 三に曰く、詔を承りては必ず謹め。…
  - 十二に曰く、国司(くにのみこと)・国造・百姓(ひやくせい)に斂(おさめ)とること勿れ。…
  - 十七に曰く、それ事は独断すべからず。
- 「二に曰く」の三宝とは何か！ **仏・法・僧** である。「十二に曰く」の条文の意味を簡潔の論述する問題が東大で出題。ここでの百姓は **公民** の意味である。

#### 遣隋使

『隋書倭国伝』には、600年に遣隋使が派遣されている記事があるが、日本書紀にはない。隋書倭国伝の多利思比孤は男性の名だとすれば厩戸王が正解。600年に遣隋使が派遣なら、小野妹子は最初の遣隋使ではない。607 **遣隋使**：**小野妹子** を派遣 → 史料 © → **煬帝** は対等外交を無礼とする翌年、答礼使：**裴世清** と共に帰国  
遣隋使に同行した2名は絶対！  
留学生 **高向玄理**・学問僧 **南淵請安**・**旻** が、小野妹子再渡航 608  
頻出事項！この2人、大化の改新時 **国博士** になっているが **南淵請安** は国博士になって **いない**。隋からの使者が **裴世清** であること確認。



キングメーカー 蘇我氏

614…第4回 **犬上御田鍬** 派遣

④ 国史の編纂：『天皇紀』『国記』 → 現存せず

史料研究 74♥ **孝徳天皇** 古代国家と宮都 早稲田への日本史 3  
古人大兄皇子、謀反の企てありとして討たれる。

ながらとよさき

飛鳥板蓋宮から撰津国@645 **難波長柄豊碓宮** → 遷都

- 問1.「大業3年」とは西暦★★★年である。607
- 問2.「多利思比孤」の有力な候補者は★★★と★ ★★である。  
(北海道大) **推古天皇**、**厩戸王** (聖徳太子)
- 問3.「使者」とは★★★をさす。(法政) **小野妹子**
- 問4.「海西の菩薩天子」とは★をさす。(同志社) **煬帝**
- 問5.「日没する処の天子」とは★をさす。 **煬帝**
- 問6.「帝」とは★★★をさす。(日本大) **煬帝**
- 問7. この史料の出典は★★★である。  
**「隋書」倭国伝**

#### 飛鳥の朝廷と文化 36~37P

飛鳥文化…朝鮮半島の **百濟**・**高句麗**、中国の **南北朝** 時代の文化的影響を多く受け西アジア・インド・ギリシアの文化ともつながる特徴を持った文化である。  
蘇我馬子創建の飛鳥寺は **法興寺** とも呼ばれ、平城京に移って元興寺となった。

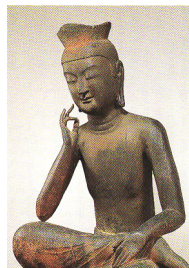
ここに住んだ **惠慈** は高句麗の僧で厩戸王の師でもある。

秦氏…広隆寺は創建が秦河勝。

#### 氏寺の建立 氏寺こそ飛鳥仏教のキーワード

- (a) **飛鳥寺** (法興寺)： **蘇我馬子** の発願
- (b) **法隆寺** (斑鳩寺)・**四天王寺**

→ **聖徳**



**太子** の発願

(c) **広隆寺**： **秦河勝** 広隆寺の半跏思惟像と **中宮寺** の半跏思惟像の区別はお団子二つとウルトラゼブンで決まり。

舒明天皇創建と伝えられる百濟大寺は後に **大官大寺** となり、平城京造営後は **大安寺** となった。

『隋書』倭国伝  
開皇二十年、倭王姓は阿每、字は多利思比孤、阿輩鷄彌と号す。使を遣し闕に詣る。…大業三年、その王多利思比孤、使を遣わして朝貢す。使者いわく、「聞く、海西の菩薩天子、重ねて「**仏法**」を興すと。故に遣わして朝拜せしめ、兼ねて沙門數十人、来りて仏法を学ぶ」と。その「**国書**」にいわく、「**日出づる処の天子**、**書を日没する処の天子にいたす**。恙なきや、云々」と。帝、これを覽て、悦ばず。「**鴻臚卿**」にいっていわく、「**蛮夷**の書、無礼なるあらば、またもつて聞するなかれ」と。明年、上、**文林郎** **裴清** を遣わして倭国に使せしむ。



Pain is inevitable Suffering is optional

立させようとする精神があるね。

法隆寺若草伽藍跡の発掘成果から、現存の金堂・五重塔などは→

焼失後に再建されたもの。

鞍作鳥により法隆寺金堂 釈迦三尊 像が作成される。

飛鳥文化を代表する北魏様式の金銅像。

法隆寺玉虫厨子は宮殿部と須弥座の側面に仏教説話の絵画が描かれている。須弥座右側面

の捨身飼虎図がよく出る。天寿国繡帳は厩戸王の死後、妃の橘大郎女が作らせた。天寿国は王が往生したとされる国。

百濟の僧 観勒 → 曆法

高句麗の僧 曇徴 → 彩色・紙・墨の技法を伝える。



7世紀半ば：蘇我蝦夷・入鹿が権力掌握

643 \* 山背大兄王 自殺追い込まれる(厩戸王の子)

645 \* 乙巳の変 (蝦夷・入鹿滅亡) 皇極讓位し、弟・軽皇子が幸徳天皇として即位

孝徳 天皇 古人大兄皇子、謀反の企てありとして討たれる。

ながらとよさき

飛鳥板蓋宮から摂津国@645 難波長柄豊碕宮へ遷都

**大化の改新 38~39P**

618 隋の滅亡・唐の成立。唐帝国は律令法にもとづく強力な中央集権国家へと成長し、周辺諸国を軍事的に圧倒していきます。唐から帰国した留学生・学問僧は、その最新情報を日本にもたらしました。

**論点**

①年号と遷都：初の年号 645 を大化元年、東アジアの動乱に備えるため、都を飛鳥から難波に遷都。

②基本方針：改新の詔 646 を発し、公地公民制・班田收授法など中央集権国家建設の基本方針を明示。しかし、実行までの過程は波乱に満ちたものになる。

\*720年成立の『日本書紀』には、646年に出された改新の詔の内容として4項目が記されている。これは701年に完成した大宝律令による文章の書き加えの部分がある。例えば第2条の地方行政区画について、「国・郡・里を置く」とされているが、この当時に郡はなく、郡にあたる行政区画は「評」と記していたことが近年藤原京跡の発掘調査で発見された木簡から明らかになっている。これを郡評論争という。まあこの詔には新しい国家的支配を成

大化改新の詔  
「其の一日に曰く、昔在の天皇等の立てまへる子代、民、処々の屯倉、及び別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る部曲の民、処々の田荘を罷めよ。仍りて食封を大夫より以上賜ふこと各差あらむ。降りて布帛を以て官人・百姓に賜ふこと差あらむ。其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・関塞・斥候・防人・駅馬・伝馬を置き、及び鈴契を造り、山河を定めよ。其の三に曰く、初めて戸籍・計帳・班田收授の法を造れ。其の四に曰く、旧の賦役を罷めて田の調を行へ。」  
『日本書紀』

**律令国家への道 39~40P**

① 白村江の戦い 663 : 日本は唐・新羅連合軍に大敗

この頃朝鮮半島では、唐と新羅の連合軍によって、百済が滅ぼされてしまった(660)。百済がなくなると朝鮮半島における足場がなくなると考えた日本は、百済を復興させるために軍隊を派遣したが、唐・新羅の連合軍に大敗北を喫する(663、白村江の戦い)。この戦いのあと、唐や新羅がいつ日本に攻めてくるかわからないので、中大兄皇子は急遽国防の強化に全力をあげる。このとき、北九州に水城・防人を設置したことがセンターではポイントになる。

**POINT**

①防備体制の強化：664九州に防人・烽を置き、大宰府では水城(水を貯えた防備施設)や大野城・基肄城などの朝鮮式山城、また西日本各地にも同様の山城が築造された。

②豪族の再編成：国家的な非常時という国際情勢を利用して国政改革を断行(664甲子の宣)。具体的には氏上を定め、豪族の領有民を確認した。

③遷都と即位：防備体制強化の一環として、畿外の地にあたる近江大津宮に遷都(667)中大兄皇子は同地で7年間の称制(即位せず政務を執ること)に終止符を打って即位した(天智天皇、668)

④天智天皇

齊明天皇が661年に没して、天智天皇が668年に即位するまで天皇は空位であった。この間は中大兄皇子の称制であった。

天智天皇の庚午年籍は持統天皇期の庚寅年籍との区別が大事。

天智没で→672\* 壬申の乱

○大海人皇子 VS \*大友皇子

大海人皇子が美濃に移り東国豪族たちの軍事動員に成功してことを押さえておきたい。

⑤天武天皇

飛鳥浄御原宮で即位した。この時期の政治を皇親政治と呼ぶ。天皇の称号が開始された。伊勢神宮が国家的な祭祀の対象となった。諸豪族の身分秩序を天皇中心に再編成するため「八色の姓」の最上位が真人は覚えておきたい。

富本銭の鑄造では飛鳥池から33枚が発見された。同じく池から天皇号が書かれた木簡も。

⑥持統天皇

飛鳥浄御原令が施行され庚寅年籍を作成し民衆の把握に努めた。国史の編纂開始→『古事記』『日本書紀』の完成。

藤原京…三代の天皇の都であり、三代を答えさせるのが早稲田大で出た。持統・文武・元明だね。宮の周囲に条坊制を持つ京がもうけられた。

